

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 20 年 6 月 26 日 (2008.6.26)

【公開番号】特開 2006-324914 (P2006-324914A)
 【公開日】平成 18 年 11 月 30 日 (2006.11.30)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-047
 【出願番号】特願 2005-145857 (P2005-145857)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 7/173 (2006.01)

H 0 4 N 5/44 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 7/173 6 3 0

H 0 4 N 5/44 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 20 年 5 月 13 日 (2008.5.13)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

放送を受信する受信手段と、

少なくとも受信中の放送番組に係る番組スケジュールを取得する第一取得手段と、
 時間情報として現在時刻を取得する第二取得手段と、

出力中の放送番組の終了時刻までの残り時間を算出する算出手段と、

受信中の放送番組を記録しつつ、当該番組を任意の時点から再生できる記録再生手段と

、
前記受信手段で受信し前記記録再生手段にて再生された放送番組を出力する出力手段とを備え、

前記出力手段は、さらに、前記算出手段による終了時刻までの残り時間を出力し、

前記算出手段は、前記記録再生手段による番組の記録位置と再生位置との間に生じる時間差を算出し、前記番組スケジュールと、前記現在時刻の情報と、算出した時間差を用いて、当該番組の再生終了までの残り時間を算出することを特徴とする、放送番組受信機。

【請求項 2】

前記第一取得手段はさらに受信中の放送番組に続く番組スケジュールを取得し、

前記出力手段は残り時間と共に前記継続番組スケジュールを出力することを特徴とする、請求項 1 記載の放送番組受信機。

【請求項 3】

前記第一取得手段はさらに受信中の放送番組終了時刻に放送される複数チャンネルの番組スケジュールを取得し、

前記出力手段は前記複数チャンネルの番組スケジュールを出力することを特徴とする、請求項 1 記載の放送番組受信機。

【請求項 4】

前記第二取得手段は、前記時間情報として、デジタル放送信号に含まれる P T S あるいはデジタル放送番組受信機の S T C を取得することを特徴とする、請求項 1 記載の放送番組受信機。

【請求項 5】

前記算出手段は、前記番組スケジュールと、前記PTSあるいはSTCから、受信中の放送番組の終了時刻までの残り時間を算出し、

前記出力手段は、受信した放送番組をリアルタイムで出力し、さらに前記算出手段で算出した残り時間を出力することを特徴とする、請求項4記載の放送番組受信機。

【請求項6】

前記記録再生手段は、前記受信手段で受信中の放送番組を録画時の時間情報と共に記録し、

前記第二取得手段は、前記記録再生手段による再生位置に記録された記録時の時間情報を取得し、

前記算出手段は、前記番組スケジュールと、前記記録再生手段による再生位置に記録された録画時の時間情報から、当該番組の再生終了までの残り時間を算出することを特徴とする、請求項1記載の放送番組受信機。

【請求項7】

前記第二取得手段は、前記時間情報として少なくとも現在時刻を取得し、

前記算出手段はさらに、算出した前記記録再生手段による再生終了までの残り時間と前記第二取得手段で取得した現在時刻から再生終了時刻を算出し、

前記出力手段は、前記再生終了時刻を出力することを特徴とする、請求項1記載の放送番組受信機。

【請求項8】

前記第一取得手段は、出力中の放送番組の放送終了前に取得した最新の番組スケジュールを保持し、前記算出手段は、前記出力中の放送番組の放送終了後に当該番組スケジュールを用いて再生終了時刻までの残り時間を算出することを特徴とする、請求項1記載の放送番組受信機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

上記目的を達成するために、本発明は、放送を受信する受信手段と、少なくとも受信中の放送番組に係る番組スケジュールを取得する第一取得手段と、時間情報として現在時刻を取得する第二取得手段と、出力中の放送番組の終了時刻までの残り時間を算出する算出手段と、受信中の放送番組を記録しつつ、当該番組を任意の時点から再生できる記録再生手段と、受信手段で受信し記録再生手段にて再生された放送番組を出力する出力手段とを備え、出力手段は、さらに、算出手段による終了時刻までの残り時間を出力し、算出手段は、記録再生手段による番組の記録位置と再生位置との間に生じる時間差を算出し、番組スケジュールと、現在時刻の情報と、算出した時間差を用いて、当該番組の再生終了までの残り時間を算出することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

さらに、本発明では、第一取得手段はさらに受信中の放送番組に続く番組スケジュールを取得し、出力手段は残り時間と共に継続番組スケジュールを出力することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 5 】

本発明の放送番組受信機によると、再生中の番組の残り時間を提供できるだけでなく、タイムシフト再生中の番組の実際の放送が終了するまでの残り時間と当該番組のタイムシフト再生終了までの残り時間を、ユーザに提供することが可能となる。